

中小企業のための生産性向上セミナー

主催：大阪商工会議所

共催：大阪工業大学

IoTで加速する生産現場の変革

～中小企業が、いかにIoTを取り入れていくのか？～

令和元年9月26日(木) 14:00 ~ 16:35

大阪工業大学 梅田キャンパス(北区茶屋町1-45 2階)

「IoTは大企業が取り組むもの」とお考えではないですか？数年前より、徐々にIoTという言葉が話題となり、今では当たり前のように耳にするようになりました。今後、IoTはどのように企業の生産現場に入ってくるのでしょうか？そして、生産現場はIoTにより、どのように変わっていくのでしょうか？

IoTによる社会変革が予想される中、中小企業はどのようにIoTを取り入れていく事ができるのか？大阪工業大学の研究成果と共に、中小企業におけるIoTの活用方法を学びましょう。

< 基調講演 >

14:00 ~ 15:20

実はお手軽IoT ~中小企業にほどよい技術~

IoT --- 言葉の意味はわかっても、それが一体(特に我が社に)何の役に立つのだろうか?.....という疑問は多くの方が抱えていることと思います。この講演ではそのモヤモヤとした問いに答えるべく、具体的な実演なども交えてIoTを再解説します。IoTは本質的にスケーラブルな技術です。適度に使うと今ある設備や仕組みをそのまま活かし、個々の企業に合わせたかたちで最新技術の導入が可能です。

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学科

教授 **小林 裕之 氏**

< 事例研究 ① >

15:30 ~ 16:00

「トレーサビリティの強化」食品容器のトップ企業の取り組み

カップデザートやマーガリンといった食品の容器、検査カップや試験管といった医療器具など、プラスチックを使った製品を製造。検査自動化から、修正の自動化にも対応するトレーサビリティの取り組みを紹介。

サンプラスチック株式会社

代表取締役社長 **桃井 秀幸 氏**

< 事例研究 ② >

16:05 ~ 16:35

産学連携による中小企業の実産性向上へ

IoT活用による生産性の向上の視点や、IoTによる新規事業創出の視点で、中小企業のIoTに対する付き合い方を大阪工業大学の研究成果や、産学連携の事例などを踏まえて、具体的にお話します。

大阪工業大学 研究支援・社会連携センター

課長・URA **北垣 和彦 氏**

講師

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学科 教授 小林 裕之 氏

2001年 東京工業大学大学院 理工学研究科 博士後期課程単位修得後退学
(2003年 博士(工学))、慶應義塾大学 情報環境学部 専任講師等を経て、2006
年より大阪工業大学にて教鞭を取り、2017年大阪工業大学 ロボティクス&デザ
イン工学部 システムデザイン工学科 教授となる。ロボットの知能化をテーマと
した基礎技術に取り組む研究室では、「AI・IoT・スマートデバイス応用」「移動
ロボットの行動アルゴリズムの機械学習」等の専門研究に取り組む。



サンプラスチック株式会社

代表取締役社長 桃井 秀幸 氏

サンプラスチックは、食品のラベルをプラスチック容器の射出成形段階で印刷するインモールドラベリン
グ技術が強み。早くからファクトリーオートメーションに取り組み、原材料の搬出入から取り出し、検査に至
るすべての工程の自動化を実現してきた。同社は1957年設立、桃井氏は2012年に代表取締役に就任後、
IoTやAIの活用による製品の付加価値向上に力を入れてきた。

会場

大阪工業大学 梅田キャンパス
(北区茶屋町 1-45 2階)

受講料

会員・非会員ともに **無料**

日時

令和元年 9月26日(木) 14:00 ~ 16:35

定員

150名 ※1社2名まで受付とさせていただきます。
※開催1週間前頃に、FAXにて受講票をお送りいたします。

対象

経営者・経営幹部、技術者など生産性向上に関心のある方

お願い 本事業は大阪府の経営支援事業費補助金の一部を受けて実施しているため、大阪府へ実施報告を致します。
講演会ご参加の際には、必ずアンケートにご協力賜わり、事務局までご提出ください。
アンケートの提出に関しましては、メール・FAX等でご連絡申し上げますこととございます。ご了承ください。

お申込み

FAX. 06-6358-6333

大阪商工会議所 東支部 林 行

9/26 IoTで加速する生産現場の变革 参加申込書

ふりがな 会社名		会員番号	
所在地	〒.....		
TEL		FAX	
資本金		業種	従業員数
ふりがな 参加者		参加者役職	

※ご記入いただいた情報は、大阪商工会議所(データ管理責任者)および共催者(大阪工業大学)間で共同利用し、本事業の事務業務に利用するとともに、大阪商工会議所および共催者からの各種連絡・情報提供(eメールによる事業案内含む)に利用します。また大阪府(事業費補助金交付元)へ事業報告のため提供いたします。